

説 教

オープン・チャーチ礼拝 北浜チャーチ

2021年5月16日(日)

黒田 禎一郎

主 題：「GPS ナビはお持ちですか？」

—人生の道案内人—

テキスト：ヨハネの福音書14章1～6節

### はじめに

- ・本日は、北浜チャーチの「オープン・チャーチ礼拝日」です。  
皆さまのご参加を歓迎します。今日は、聖書のみことばを分かりやすくお話ししますので、どうぞ楽な気持ちでお聞きになってください。
- ・ところで、最近の自動車は（小型車でも）、「GPS ナビ」が標準装備となっている車が多くなりました。皆さんもご存知のように、GPS ナビは道先案内をしてくれる機械です。これは知らない土地に行く場合、本当に便利なものです。音声と画像で、「そこを直進してください」とか、「次の信号を右折してください。」とか言ってくれます。
- ・しかも、最近のレンタカーには多言語（英語、中国語、韓国語等）で、案内してくれるGPS ナビが付いていますから、外国人でも日本で簡単に目的地まで行くことは可能です。じつに便利な時代となりましたね。
- ・しかし、GPS ナビも機械ですから、メンテナンスによって常にグレードアップしていければなりません。ですから常に調整が必要です。私が乗っている車はもう5年以上となり、GPS ナビのグレードアップができてないので、古くなりました。ですから、時々正しくない道案内をします。
- ・目的地へ確実に到着したいならば、常にグレードアップしたGPS ナビが必要であることを痛感しております。
- ・ところで、私たちは人生の道案内をしてくれるGPS ナビを、知っているでしょうか？ ある人は、道案内がなくても自分で目的地まで行けると考えています。しかし、その目的地はどこでしょうか。きっと自分の人生で、自分なりに設定した目的地でしょう。それも結構でしょう。
- ・しかし人生は、この世だけではありません。いいえ、死後の世界があります。聖書は、人は善であれ、悪であれ、神の前に立ち、さばきを受けると語っています。私たちは世の中で悪人が栄え、正直な人が損をするような社会で、満足するのでしょうか。いいえ、決して満足はしません。イエス・キリストは言われました。  
14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。  
ヨハネ
- ・今日は、人生のまことの道案内人であるお方、イエス・キリストについてお話しします。 2点

### 大切なポイント

#### 1. 人間は心騒がせるものである

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」 ヨハ

## ネ

- ・私たち人間はだれでも、それなりの悩みがありますね。そして悩みが大きくなれば、自分の力では解決できなくなり、心を騒がせてしまいます。時には怒りが生じてくることでしょう。私たちは、自分が願っているように物事が進まない場合、あるいは先行きが不透明な場合、不安となり、心を騒がせてしまいます。
- ・天地を創造された神は、人に「良心」を与えてくださいました。どんな人でも、心中には良心というものがあります。広辞苑によれば、**良心とは「何が善であり、悪であるかを知らせ、善を命じ悪をしりぞける個人の道徳的意識」**とあります。ですから、個人の道徳的意識から外れることがあれば、「良心がとがめる」ということになります。
- ・皆さん。悪を行ないつつ、表向きは何もないように歩いている人がいたとしても、その人にも良心というものはあります。

## 『例 話』

- ・現在、日本の歴史に残る恥ずべき裁判となっているのは、かつては法務大臣を務めた河井克行被告の裁判です。2019年7月の参議院選挙において、河井被告は広島の地元政治家たち100人に、合計2,900万円を渡し、票の取りまとめを依頼しました。
- ・彼は昨年6月に逮捕されましたが、その後も国会議員職にとどまり、検察側と激しく対立してきました。裁判の席では、雄弁家の彼はなんと35時間にもおよび、全面無罪を主張してきました。ところがです。先日その彼が先月一転して、買収を認め、政界を引退すると宣言したのです。傍聴人の多くは、本当に驚きました。
- ・いったい、何が起こったのか。彼は裁判官の前で次のように語りました。  
**「独房で自問自答を繰り返し、認めるべきことは認めようと思った。」**そして保釈後、彼は知合いの**カトリック教神父から「神の前で誠実であることが第一です」、と諭されて決断したと述べました。**
- ・彼のうちにある**良心が働いた**のでした。彼の弁護団はこのエピソードを、事前に知らされてはいなかったそうです。

- ・皆さん。「良心のとがめ」、それは神の前に大きなサインであります。神は私たちに良心をお与えくださいました。聖書はまた次のようにも語っています。

## 伝道者の書 新改訳聖書

この箇所を新共同訳聖書で開きますと、次のようです。

3:11 神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。

## コヘレトの言葉 新共同訳聖書

- ・永遠、それは神の世界を指しています。私たち人間はみな有限であり、限りがあります。いつもまでも続き、永遠というものではありません。しかし、神は永遠なるお方です。永遠、それは神を表します。神は天地万物をおことば一つで造られた、偉大なお方です。
- ・私たちは残念なことに、この創造神について聞かされていませんでした。そこで人類は、永遠を思う心があるゆえに、神に型取る別の礼拝対象物を作り出してしまいました。聖書はこう述べています。

1:23 朽ちない神の栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに似たかたちと替えてしまいました。  
 た。 ローマ

ここに、数えきれない神々（偶像）が作られた理由があります。

- 聖書は、神が世界をお造りくださったと明言しています。

聖書は、神の存在は被造物を通して、はっきりしていると述べています。

1:20 神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。ローマ

### 『例 話』

- 先月、大阪では見事な桜のシーズンが終わりました。今年は大阪造幣局の桜並木を歩く「通り抜け」も、コロナ禍のため中止となりました。しかし毎年、実に見事な美しい桜が花を咲かせてくれます。

- また4月から5月にかけて咲く「藤の花」も、お見事ですね。その他、春には数多く美しい花々が咲き、私たちを楽しませてくれます。それに日本の国には、はっきりした「四季」があります。春、夏、秋、冬という四季によって、さまざまな植物や木々が鮮やかに変化し、楽しませてくれます。

感動を与えてくれる大自然の美です。それは全て神の存在を現しています。

- 聖書は、語っています。

1:20 神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。

### ローマ

- そしてさらに、ローマ人への手紙は語っています。

1:21 彼らは神を知っていながら、神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その鈍い心は暗くなったのです。

1:22 彼らは、自分たちは知者であると主張しながら愚かになり、

- 皆さん、人間はその結果、どのようなものとなったのでしょうか。

1:24 そこで神は、彼らをその心の欲望のままに汚れに引き渡されました。そのため、彼らは互いに自分たちのからだを辱めています。

1:25 彼らは神の真理を偽りと取り替え、造り主の代わりに、造られた物を拝み、これに仕えました。

- 皆さん、人間はこのようにして心が鈍くなってしまいました。そして心を騒がせることが多く、悩み苦しむ者となってしまったのです。イエス・キリストは、そのような人間を愛してくださり、道案内をしてくださるお方です。

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。ヨハネ

イエスは、私たちが正しく生きる道をお示しく下さいました。そして。その道は祝福の道であると教えられました。

- では、なぜイエスはそのように断言できたのでしょうか？

→イエスは、世の初めからおられた神の子であるからです。

それが次のポイントです。

## 2. イエス・キリストはメシア（救い主）である

### 1) イエスは癒し主である

- ・今の時代は SNS が急速に進み、フェイクニュースが盛んに飛び交い、多くの人々は心悩ませています。犯人が見えない中で、誹謗、中傷によって、心に傷を受けている人々は少なくありません。被害者の中には、立ち上がれないほど、深い傷を受けている方々もいます。被害者の傷を、いったい誰が癒すことができるのでしょうか。
- ・神は、癒すことが可能です。天地をお造りくださったお方は、権威あるお方です。おことば一つで癒すことができるお方です。新約聖書には、次のようなストーリーが記録されています。（マタイ福音書 8：5-10）
- ・イスラエルにはガリラヤ湖という美しい湖があります。今から約 2 千年前、そのガリラヤ湖畔にカペナウムという町がありました（今は廃墟）。そこにはローマの兵隊 100 人が駐屯していました。その最高責任者は百人隊長でした。ある時、彼はイエスのもとに来てこう尋ねました。マタイ福音書 8 章  
8:6 「主よ、私のしもべが中風のために家で寝込んでいます。ひどく苦しんでいます」と言った。
- ・イエスは彼に「行って彼を治そう」と言われました。  
すると百人隊長は次のように言いました。  
8:8 しかし、百人隊長は答えた。「主よ、あなた様を私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。ただ、おことばを下さい。そうすれば私のしもべは癒やされます。  
8:9 と申しますのは、私も権威の下にある者だからです。私自身の下にも兵士たちがいて、その一人に『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをしろ』と言えば、そのようにします。」  
8:10 イエスはこれを聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことはありません。
- ・そして、さらにこう言われました。  
8:13 それからイエスは百人隊長に言われた。「行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」すると、ちょうどそのとき、そのしもべは癒やされた。
- ・イエス・キリストは「癒し主」です。百人隊長は心優しく、部下の苦しみを自分の痛みと受け止め、イエスに訴えました。彼の信仰に、イエスはお答えくださいました。そして「まことに、あなたがたに言います。わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことはありません。」(8:10)  
と言われました。彼は異邦人でしたが、高い評価を受けました。
- ・このことは何を教えているのでしょうか？ イエスを信じる信仰を持つ者には、癒しという救いがあることです。なんとという幸いでしょうか。当時、中風という病気は難解な病気でした。しかし、イエスはおことばで病人を癒されました。イエスは、ことばで癒すことができる権威をお持ちのお方です。  
8:13 それからイエスは百人隊長に言われた。「生きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」すると、ちょうどそのとき、そのしもべは癒された。
- ・ところで、イエスはヨハネの福音書で、次のように言われました。

### 2) イエスはメシア（救い主）である

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通し

てでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。ヨハネ

- ・イエスは、ここで大切な3点を教えられました。

### ① わたしが道です

- ・人は人生において、さまざまな道を歩みます。あなたは、いかがでしょうか。どのような道を歩んでおられますか？ここに、「わたしは道である」と断言されたお方がおられます。イエス・キリストです。イエスは神の子であり、世の初めからおられるお方ですから、正しい道、義の道、祝福の道を示すことができるお方です。
- ・あなたが今、もし心騒がせることがあるならば、正しいお方に従うことです。人間が作った宗教ではありません。世界を造られた神にお従いする道です。イエスの道に従ってきたクリスチャンは、過去約2千年の歴史において、数えられないほど多数います。
- ・私も14歳の時、イエス・キリストにお従いする献身をし、これまで幸いな人生の道を歩んできました。私の歩いた道はイエス・キリストが先導してくださった道であり、祝福の道です。本当の意味でのGPSナビでした。感謝。

### ② わたしが真理です

- ・次にイエスは、「わたしは真理です」と言われました。真理を裏返すならば、誤りがない、確かであるということです。人は確かなものを求めています。信仰心の篤い日本人は、宗教に確かなものを求めています。
- ・私の知人に20以上の宗教を遍歴した方がいました。もう彼女は召されています。彼女は長年にわたり重い心臓病を患い、この宗教に入れば救われると思い、ワラにもすがるような気持ちで、日本の代表的な宗教をほとんどまわったと、言われました。しかし救いはありませんでした。
- ・彼女が20以上もの宗教遍歴を経て最終的に分かったことは、結局のところ、どの宗教もお布施、つまり「お金」が目的であったということでした。彼女は、この宗教は確かであると信じて入信しました。しかし、そうではありませんでした。
- ・人生で生きる希望を失い、自ら命を断とうともしました。そんな時に、彼女はイエス・キリストを知りました。そして聖書の中に生きておられる、真の神イエス・キリストを信じクリスチャンとなりました。彼女の人生はそれから大きく変えられました。真理の神に出会ったからでした。その後、感謝の心をもって人生を生き、天に召されたのでした。
- ・彼女が天に召されたとき、私は召天式の司式をさせていただきました。イエスはもう一点、大切なことを語られました。

### ② わたしがいのちです

- ・人間にとって一番大切なものは、結局のところ、「いのち」ではありませんか。身体を保持していくには、いのちが保たれなければなりません。健康を損なうならば、お金、名誉、地位等はなんの力もありません。
- ・コロナ禍の現在、もう説明は不要でしょう。インドでは毎日40数万人の方々がコロナウイルスに感染し、世界第2位の死者数を出しています。医療は完全に崩壊してしまいました。TVで見ましたら、一つのベッドに、2人の患者が横になっていました。救命用の酸素ボンベが不足したため、病院の酸素ボンベが盗難にあっていました。家族をコロナで失った男が、救えなかった医療従事者にナイフを持って追いかけて、切りつ

けるという事件も発生しました。社会が大きく狂っています。「いのち」、それは本当にかげがえのない尊いものであります。

・イエスが言われた「わたしがいのちです」とは、どういう意味でしょうか。

(1) イエス・キリストに真の命があるということです。イエスは約33年の公生涯の後、捕らえられ、十字架にかけられ、そして墓に埋葬されました。しかし旧約聖書が語るように、3日目に復活されました。死を打ち破られました。そして今も生きておられるお方です。

・では、イエスはなぜ十字架にかかれたのでしょうか。それは私たちのためでした。心騒がせ、罪を犯してしまう者のためです。罪ある者は、裁かれます。この世の中でも、罪を犯せば必ずさばきを受けます。神はすべてをお見通しで、私たちの言動をひとつひとつご覧になっています。そして神は必ず罪を罰せられます。

・いったい、どのように罰せられるのでしょうか？

それは死刑という刑罰です。聖書は「罪の支払う値は死である」と語っています。しかし神は、私の罪のためにイエス・キリストを代わりに罰せられました。私のすべての罪を、イエスの上に置かれました。そして十字架上で死刑という恐ろしい刑罰を、負わせられました。覚えてください。

罪とは死に値するほど、大きなものです。

・神はそのイエスを、権威を持って死から復活させられました。それによって、神は死をも克服する権威が証明されました。だれでも。イエス・キリストを信じる人は救われます。

・「わたしはいのちです」とは、もうひとつ意味があります。

(2) 復活されたイエスとともにいる者は、同じくイエスの復活のいのちが与えられることです。やがて身体は朽ちてはいきます。しかし、魂は復活されたイエス・キリストとともに生きるのです。イエスは言われました。

11:25 イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。ヨハネ

11:26 また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」ヨハネ

皆さん。 なんとという幸いではありませんか。

・神の御子であるイエスは、また次のようにも言われました。

14:6 わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

このことばは、まことに権威あるおことばです。確信をもって言われたおことばです。

・いかがでしょうか。あなたの人生の道案内人はどなたでしょうか。大丈夫なお方でしょうか。イエス・キリストは権威と確信をもって、今日あなたを招いてくださっています。

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」ヨハネ

## ま と め

主 題：「GPS ナビはお持ちですか？」

—人生の道案内人—

・今日も、イエスは言われました。

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」 ヨハネ

・イエス・キリストが今日お語りくださったメッセージは、「人生の道案内人」です。それはイエス・キリストご自身であります。イエスは今日、あなたを招いておられます。私のもとに来なさい！ と。わたしは道案内人ですよと。

・どうぞ、心を開いて幸いな道案内人であるイエスのもとに来られませんか。

最後に、もう一度次の聖句をお読みします。

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」 ヨハネ

\* God bless you!